

第2学年		指導者	武藤 ・ 内田
教科・領域	道徳		単元・題材 かわいそうなぞう
目 標 または ねらい		展開計画 (総時数 1 時間)	
人気者の動物園のぞうまでもがえさをあた		絵本「かわいそうなぞう」の読み聞かせをする えさをもらえないゾウの気持ちを考える。 えさをあげられない動物園のひとの気持ちを考える。 戦争について知る。	
本時の学習 (実践日 平成 2 7 年 7 月 1 0 日 金曜日 第 1 校時)			
学 習 活 動		児童の主な反応・様子	
1. 動物園に行ったことがあるか話し合う		○ これまでの経験をもとに、動物園の楽しい様子に思いをめぐらす。	
2. 絵本の読み聞かせをして、話の内容について知る。		○ 電子黒板で場面の絵を見ながら、静かに聞いていた。ぞうがえさをもらえなくてもがんばっている場面や苦しんでいる場面では、特によく聞いていた。	
3. えさをもらえなかったぞうの気持ちを考える。		○ おなかがすくだろうな。 えさをもらえないなんてかわいそう。 ぼくだったら、耐えられない。など悲しいぞうの気持ちに共感していた。 また、餌をもらおうと懸命に芸をするぞうの気持ちを考えることができた。	
4. 芸をするぞうをみた飼育員の気持ちを考える。		○ えさをあげたくても、あげるえさもない。 おなかをすかせて、弱っていくぞうをみていられない。これまで、大切に育ててきたのに・ ・・。とお世話をする立場からも考えることができた。	
5. 戦争について知り、考える。		○ 戦争は「国と国のけんか」であり、動物やそこに生きている人達には何の罪のない事を知る。 かって日本では、悲しい戦争がおこりたくさんの命が失われたことを知る。	
6. 今日の学習で感じたことを書く。		○ 自分たちが生きている現在は平和であるが、戦争って怖いものだ。ぜったいにしてはいけないと感じることができた。	
単 元 を 終 え て の 考 察			
<p>絵本を拡大表示することで、子ども達は場面の様子がよくわかった。 えさをもらえないということは、おなかがすくということ子ども達にとってはわかりやすかったようだ。戦争については、時代背景など難しいところもあるが、罪もない動物までもが犠牲になるということがわかったようだ。 動物好きな子どもが多いため、大好きな動物が戦争のために死んでいくことが許せなかったようだ。そして、現在自分たちの命は守られているということ・生かされているということに気付くことができた。 戦争については、これからも指導を繰り返していく必要がある。</p>			